

2017年12月7日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 476
自校教育・周年事業・同窓会・寄附の活力
～ 創設・試練・再興のパワー源／明日につなぐ“原動力”～
1月11日〈木〉開催
ご参画・ご派遣のお願い

平成30年の新春に、明るい話題を提供すべく、大学の明日を拓くための4大キーワードに係る大学活性化・原点セミナーを企画しました。

米国の私立大学における理事会の2大使命は、財政基盤の増強と有能な学長のスカウトとサポートにあるといます。前者は寄附収入による豊かな基金の蓄積に象徴されます。後者が創出する教育研究活動が優れた学生を育成し、卒業時の満足度となり、社会での活躍で形成した資産を母校に寄附・遺贈するというサイクルです。

私立大学の教育目標は、将来、母校に誇りを持って、寄与・貢献できる人財の輩出にあるといえます。つまり、大学教育の中長期的な評価は、OB・OGのネットワーク（同窓会・校友会）の活力で計られるといえます。

本セミナーでは、“自校教育”“周年事業”“同窓会”“寄附募集”を貫くアーカイブズ事業の好サイクル化に挑戦し、実績を上げている4大学のキーパーソン各位から、ご報告とご提言をいただきます。

まず、本年“建学75周年”を迎えた東海大学の橋本 敏明氏（常務理事・学園史資料センター長）から、75周年記念事業の取組み、『七十五年史』の編纂状況、100周年に向けた「学園マスタープラン」の策定について、報告いただきます。

2014年に開設した立教学院展示館の豊田 雅幸氏から、“立教の140年を体感”できる展示館の特徴やデジタル・映像コンテンツの活用状況、各設置校による教育利用の実際、そして自校史教育の試みと実績について報告いただきます。

2019年に創立120周年を迎える実践女子学園の井原 徹理事長氏から、学祖・下田 歌子の志の熱い継承、渋谷・日野の2校地キャンパスの緊密な連携、目標達成した周年募金の取組み、そして、在校生・OG、教職員、役員・支援者の愛校心を育む大切さについて、報告いただきます。

最後に、拓殖大学創立百年史編纂に16年余携われておられる武田 秀司氏（編纂室 編集委員）から、自校史編纂の今日的意義、組織体制・制作上のポイントと留意点について、論展いただきます。

なお、第3講義のテーマ及び講師が当初の告知と変更していることをご高承くださいませ。